

(A) 組織・運営体制

1. コンピュータやネットワークの管理・運用の実務を行う主たる組織（令和7年5月1日現在）

(1) 名称と区分

- ◆ コンピュータやネットワークの管理運営の実務を行う主たる組織名称および組織の区分を回答してください。
- ◆ 教育研究用のコンピュータやネットワークと事務用のコンピュータやネットワークを、一元的に管理している場合は「(a) 一元的に管理している場合」の欄に、個々に管理している場合は「(b) 個々に管理している場合」の欄に、管理運営の実務を行う主たる組織の名称及び区分を回答してください。

(a) 一元的に管理している場合

名称	区分（注）
	（選択式）

(b) 個々に管理している場合

	名称	区分（注）
教育研究用		（選択式）
事務用		（選択式）

注：組織の区分に該当する番号を記入してください。

1 情報処理関係施設 2 学部・研究科・研究所 3 図書館 4 事務局本部
5 教職員による運営委員会等 6 その他（1～5以外） 7 全ての業務を外部委託

(2) 職員

- ◆ 「(1) 名称と区分」において組織の区分1～6のいずれかを選択した場合、回答した組織の職員について、令和7年5月1日現在の「実人数」を回答してください。

区分			実人数
管理職		専任職員	
		兼任職員	
一般職	教員	専任職員	
		兼任職員	
		非常勤職員等	
	技術職員	専任職員	
		兼任職員	
		非常勤職員等	
	事務職員	専任職員	
		兼任職員	
		非常勤職員等	
実人数総計			人 (自動計算)

2. 業務の外部委託の状況（令和 6 年度実績）

- ◆ 令和 6 年度における、コンピュータやネットワークに係る業務の外部委託の状況を回答してください。

(1) 外部委託の有無（単一選択）

- ☐ 有
- ☐ 無

＜(1)で「有」を選択した場合＞

(2) 外部委託の内容（複数選択可）

- ◆ (1)で「有」を選択した場合、外部委託の内容を選択してください。
- ◆ コンピュータやネットワークに係る業務を全て民間事業者等に委託している場合は、「コンピュータやネットワークに係る全ての業務」のみを選択してください。

- ☐ コンピュータやネットワークに係る全ての業務
- ☐ コンピュータ及びネットワークの管理・運用関連業務
- ☐ コンピュータ及びネットワークの保守業務
- ☐ セキュリティ関連業務（建物の警備、セキュリティ関連システムの開発・運用を含む）
- ☐ 研修業務
- ☐ ヘルプデスク
- ☐ その他

3. 自由記述欄

- ◆ 「(A) 組織・運営体制」に関し、回答に対する補足説明等がございましたら、その内容を記入してください。

--

(B) 学内 LAN（学内ネットワーク）の整備状況

- ◆ 「(A) 組織・運営体制」の1(1)で回答した組織が管理・運用する学内 LAN の整備状況を回答してください。
- ◆ 令和7年5月1日現在で稼働している回線のみ回答してください。稼働している回線がない場合は、空欄のままとしてください。
- ◆ 回線が複数ある場合は、最も通信速度の速い回線について回答してください。最も通信速度の速い回線が複数ある場合、その中で直近に整備した回線について回答してください。
- ◆ 整備年度については、回線の購入年度、あるいは借上を開始した年度を回答してください。
- ◆ 通信速度、整備年度が同じ回線が複数ある場合は、代表的なものを一つ回答してください。
- ◆ アナログ回線の場合は、接続しているモデムの速度で通信速度を記入してください。

1. 学内 LAN（令和7年5月1日現在）

- ◆ 学内 LAN（キャンパス間接続回線を含む）について整備年度、規格、通信速度を回答してください。
- ◆ 本調査における「学内 LAN」とは、大学において全学的な利用を目的としたネットワークを言い、幹線だけでなく支線まで含めます。

整備年度（注1）	規格（注2）	通信速度（注3）	
		数値	単位
（選択式）	（選択式）		（選択式）

注1：調査時点で稼働している回線の購入年度、あるいは借上を開始した年度を選択してください。

1 令和2年度以前 2 令和3年度 3 令和4年度 4 令和5年度 5 令和6年度以降

注2：利用している規格を選択してください。

1 イーサネット 2 無線 3 その他

注3：通信速度の数値を数値欄に入力し、単位を選択してください。

1 Gbps 2 Mbps

2. 対外接続（令和7年5月1日現在）

- ◆ 対外接続について整備年度、接続先ネットワーク、通信速度を回答してください。
- ◆ 学外のネットワークの接続拠点となっている大学は、学内 LAN のネットワーク装置（スイッチ、ルータ等）と接続先ネットワークのネットワーク装置を接続する回線について回答してください。

整備年度（注1）	接続先ネットワーク（注2）	通信速度（注3）	
		数値	単位
（選択式）	（選択式）		（選択式）

注1：調査時点で稼働している回線の購入年度、あるいは借上を開始した年度を選択してください。

1 令和2年度以前 2 令和3年度 3 令和4年度 4 令和5年度 5 令和6年度以降

注2：学内 LAN の接続先ネットワークを選択してください。

1 学術情報ネットワーク（SINET） 2 地域ネットワーク 3 商用プロバイダ 4 その他

注3：通信速度の数値を数値欄に入力し、単位を選択してください。

1 Gbps 2 Mbps

3. 無線 LAN（令和 7 年 5 月 1 日現在）

- ◆ 無線 LAN の回線を有する場合、整備年度、通信速度を回答してください。

整備年度（注 1）	通信速度（注 2）	
	数値	単位
（選択式）		（選択式）

注 1：調査時点で稼働している回線の整備年度を選択してください。

1 令和 2 年度以前 2 令和 3 年度 3 令和 4 年度 4 令和 5 年度 5 令和 6 年度以降

注 2：通信速度の数値を数値欄に入力し、単位を選択してください。

1 Gbps 2 Mbps 3 Kbps

4. 自由記述欄

- ◆ 「(B) 学内 LAN（学内ネットワーク）の整備状況」に関し、回答に対する補足説明等がございましたら、その内容を記入してください。

--

(C) コンピュータやシステムの整備・運用状況

- ◆ 「(A) 組織・運営体制」の1(1)で回答した組織が管理・運用を行うコンピュータやシステムについて回答してください。ただし、令和7年5月1日現在で稼働していないコンピュータやシステムについては回答しないでください。

1. 端末の整備状況（令和7年5月1日現在）

(1) 端末数

- ◆ 「(A) 組織・運営体制」の1(1)で回答した組織が学内で共同利用するために設置しているパソコン台数を回答してください。

端末数	台
-----	---

(2) BYOD (Bring Your Own Device) の取組状況（単一選択）

- ◆ 学生自身が所有している端末を学内に持ち込み、授業や構内での自主学習に使用することを推進しているかどうかの状況を回答してください。
- ◆ 本調査における「BYOD」とは、大学が所有または指定する、あるいは学生が所有するノートパソコンやタブレット端末等を教育用途に使用することを指します。

- ☐ 全学で取り組みを推進している
- ☐ 一部の部局で取り組みを推進している
- ☐ 取り組んでいない

2. 認証基盤の整備状況（令和7年5月1日現在）

(1) 学内認証基盤の有無（単一選択）

- ◆ 学内の情報システムの認証基盤の有無について回答してください。
- ◆ 本調査における「学内認証基盤」とは、一つのユーザーID・パスワード又は公開鍵暗号方式等による電子認証などを活用して、教職員や学生等が学内に複数ある情報システムを利用可能とするシステムのことを指します。

- ☐ 有
- ☐ 無

<(1)で「有」を選択した場合>

(2) シングルサインオンの導入状況（単一選択）

- ◆ (1)で「有」を選択した場合は、シングルサインオンの導入状況について回答してください。
- ◆ 本調査における「シングルサインオン」とは、認証を一元的に行うサーバを通じてサービスにログインすることにより、ユーザー認証を前提とした学外サービスを含めた各種サービスを受けられるようになる仕組みのことを指します。

- ☐ 導入している
- ☐ 導入していない

3. クラウドの運用状況（令和7年5月1日現在）

- ◆ 大学の情報システムに関するクラウドの運用状況について回答してください。
- ◆ 本調査における「クラウドの運用」とは、大学における電子メールシステム、ファイルサーバ、eラーニングシステム等の情報システムの一部または全部を、学内の情報センター等または学外の施設に集約して運用していることを指します。

(1) 運用の有無（単一選択）

- ☐ 運用している
- ☐ 運用していない

＜(1)で「運用している」を選択した場合＞

(2) 運用の状況（単一選択）

- ◆ (1)で「運用している」を選択した場合、運用の状況について選択してください。

- ☐ 情報システムを学内の情報センター等に集約して運用
- ☐ 情報システムを学外の施設に集約して運用
- ☐ 情報システムの内容により、学内及び学外の施設に集約して運用

(3) 用途（複数選択可）

- ◆ 運用しているクラウドの用途について選択してください。

- ☐ 管理運営基盤（電子メール、ホームページ、人事給与、財務会計、図書館業務等）
- ☐ 教育・学習基盤（eラーニング、CMS/LMS、遠隔講義、eポートフォリオ等）
- ☐ 研究基盤（研究データ管理・共有、高性能計算、統計処理等）
- ☐ その他（ ）

4. 自由記述欄

- ◆ 「(0) コンピュータやシステムの整備・運用状況」に関し、回答に対する補足説明等がございましたら、その内容を記入してください。

(D) 教育への活用

1. 情報リテラシー教育（令和6年度実績）

- ◆ 情報リテラシー教育の実施状況について選択してください。
- ◆ 本調査における「情報リテラシー」とは、コンピュータやネットワークの基礎的な理解、コンピュータやソフトウェアの操作、情報検索能力等を指します。

(1) 実施の有無（単一選択）

- ☐ 実施している
- ☐ 実施していない

＜(1)で「実施している」を選択した場合＞

(2) 実施内容

- ◆ 情報リテラシー教育を実施している場合、その内容ごとに実施状況を選択してください。

内容	実施状況 (注)
学内 LAN を利用するために必要な操作方法やルール	(選択式)
学内のシステム、アプリケーションソフトウェア、データベース等の利用 方法やルール	(選択式)
情報検索技術	(選択式)
その他情報技術一般 (コンピュータやネットワークのしくみ、プログラムの基礎的知識等)	(選択式)
情報セキュリティ	(選択式)
倫理・マナー	(選択式)

注：内容ごとに実施状況を選択してください。

1 全学生に対して実施 2 一部・希望者に対して実施 3 実施していない

2. ネットワークを介した遠隔教育（令和6年度実績）

- ◆ ネットワークを介した遠隔教育の実施状況について回答してください。
- ◆ 本調査における「遠隔教育」とは、インターネット等を用いた授業で、面接授業に相当する教育効果を有すると認めるものを指します。資料配信型・オンデマンド型・双方向型を含めます。

(1) 実施の有無（単一選択）

- ☐ 実施している
- ☐ 実施していない

<(1)で「実施している」を選択した場合>

(2) 遠隔教育の内容（複数選択可）

- ◆ (1)で「実施している」を選択した場合、その内容について選択してください。
- ◆ 本調査における「単位付与」とは、履修することにより進級・卒業の要件となる単位を取得できる講義、「単位なし」とは履修してもそのような単位を取得できない講義を指します。

☐ 補習授業（リメディアル教育）	
☐ 補習授業（自主学習）	
☐ 一般（教養）教育（単位付与）	
☐ 一般（教養）教育（単位なし）	
☐ 専門教育（単位付与）	
☐ 専門教育（単位なし）	
☐ その他（単位付与）（	）
☐ その他（単位なし）（	）

(3) 講義数

- ◆ ネットワークを介した遠隔教育として実施している講義数を記入してください。
- ◆ リアルタイムで行う遠隔講義のほか、オンデマンド型で行う遠隔講義も含めた、実際に講義を行った回数を回答してください。

--

(4) 利用媒体（複数選択可）

- ◆ ネットワークを介した遠隔教育を実施する際に利用する媒体を選択してください。

☐ テキスト（文字情報、ただし電子メールを除く）	
☐ 画像（写真、図）	
☐ 映像（動画、ビデオ）	
☐ ネットカメラ等を利用した双方向型	
☐ 電子メール	
☐ 電子掲示板（BBS）	
☐ ソーシャルネットワーキングサービス（SNS）	
☐ その他（	）

(5) 必要な学生への機器貸与（単一選択）

- ◆ ネットワークを介した遠隔教育を実施する際に、受講する学生に貸出を行っている機器を回答してください。

☐ パソコンやタブレット等の端末の貸与を実施
☐ モバイルルータ等の通信機器の貸与を実施
☐ パソコンやタブレット等の端末とモバイルルータ等の通信機器の両方について、貸与を実施
☐ 機器の貸与は実施していない

3. 講義のデジタルアーカイブ化（令和6年度実績）

(1) 実施の状況（単一選択）

- ◆ 講義のデジタルアーカイブ化について実施状況を選択してください。
- ◆ 本調査における「講義のデジタルアーカイブ化」とは、講義を電子的にアーカイブ化し、公開等を行うことを指します。

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">○ 実施している○ 実施していない |
|--|

<(1)で「実施している」を選択した場合>

(2) 公開の範囲（単一選択）

- ◆ 講義のデジタルアーカイブ化を実施している場合、その公開の範囲を選択してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">○ 履修者に限定して公開○ 学内に公開○ 学外を含め公開○ 保存のみ |
|---|

(3) 利用ソフトウェア（複数選択可）

- ◆ 講義のデジタルアーカイブ化に利用しているソフトウェアを選択し、ソフトウェアの名称を記入してください。

- | | |
|---|---|
| ☐ 商用ソフトウェア（ | ） |
| ☐ フリーソフトウェア（ | ） |
| ☐ 独自開発によるソフトウェア（ | ） |

4. 自由記述欄

- ◆ 「(D) 教育への活用」に関し、回答に対する補足説明等がございましたら、その内容を記入してください。

--

(E) コンピュータやネットワークに関するポリシー

- ◆ 学内全体の状況について回答してください。

1. 情報戦略の策定状況（令和7年5月1日現在）

(1) 情報戦略の有無（単一選択）

- ◆ 情報戦略の有無を選択してください。
- ◆ 本調査における「情報戦略」とは、大学におけるコンピュータやネットワークなどの学術情報基盤を持続的に整備・運営するための全学的な計画等を指します。

- ☐ 有
☐ 無

<(1)で「有」を選択した場合>

(2) 情報戦略の内容（複数選択可）

- ◆ (1)で「有」を選択した場合、その内容を選択してください。

- ☐ コンピュータ及びネットワークの持続可能な整備・運用計画に関すること
☐ 全学の情報システムの一元化・集中化に関すること
☐ 危機管理対策に関すること
☐ 業務改善・業務高度化の推進に関すること
☐ 人材確保・専門家養成に関すること
☐ 全学的な情報セキュリティの確保に関すること
☐ 教育の情報化に関すること（eラーニングの推進、教育用コンテンツの充実等）
☐ その他（具体的に：_____）

2. セキュリティポリシー（令和7年5月1日現在）

(1) セキュリティポリシーの有無（単一選択）

- ◆ 全学的なセキュリティポリシーの有無について選択してください。

- ☐ 有
☐ 無

(2) セキュリティ対策の実施状況（単一選択）

- ◆ コンピュータやネットワークに対するセキュリティ対策の実施の有無について選択してください。

- ☐ 実施している
☐ 実施していない

3. 研究データポリシー（単一選択）（令和7年5月1日現在）

- ◆ 研究データポリシーの策定状況について選択してください。
- ◆ 本調査における「研究データポリシー」とは、「公的資金による研究データの管理・利活用に関する基本的な考え方」（令和3年4月27日統合イノベーション戦略推進会議決定）
（<https://www8.cao.go.jp/cstp/tyousakai/kokusaipen/sanko1.pdf>）の「4-1. データポリシーの策定」で言う「データポリシー」を指します。
- ◆ “調査時点で策定されている研究データポリシーはないが、検討委員会を設置する等、機関として検討に取り組んでいる” という場合は、「検討中」を選択してください。

- ☐ 有
- ☐ 検討中
- ☐ 無

4. 自由記述欄

- ◆ 「(E) コンピュータやネットワークに関するポリシー」に関し、回答に対する補足説明等がございましたら、その内容を記入してください。

--

(F) 高速計算機

- ◆ 本調査における「高速計算機」とは、科学技術計算用の高速計算機（最大理論性能が倍精度浮動小数点演算（FP64）50TFLOPS 以上）を指します。
- ◆ 設置部局内や研究室内で利用するものについても回答の対象としてください。

1. 保有・利用状況（令和 7 年 5 月 1 日現在）（※(2)のみ令和 6 年度実績）

(1) 保有状況（単一選択）

- ◆ 高速計算機の保有状況について回答してください。

- 学内等の需要に基づき、高速計算機を保有している
- 学内等の需要はあるが、高速計算機を保有しておらず、他機関の高速計算機を利用している
- 学内等の需要がないため、高速計算機を保有していない

<(1)で「学内等の需要に基づき、高速計算機を保有している」を選択した場合>

(2) 保有する高速計算機の利用者数（令和 6 年度実績）

- ◆ (1)で「学内等の需要に基づき、高速計算機を保有している」を選択した場合は、利用目的（研究利用／教育利用）ごとに各利用者（学内利用者／学外利用者（企業所属）／学外利用者（企業以外））の人数を回答してください。
- ◆ 利用者数は利用アカウント等の登録者数ではなく実利用人数で計上してください。

	学内利用者	学外利用者 （企業所属）	学外利用者 （企業以外）	合計
研究利用				（自動計算）
教育利用				（自動計算）
合計	（自動計算）	（自動計算）	（自動計算）	（自動計算）

2. 設置状況（令和 7 年 5 月 1 日現在）

- ◆ 高速計算機の設置状況について、一つの高速計算機システムごとに回答してください。
- ◆ 複数の機種から構成される場合、最大理論性能は合計値を記入してください。

機種名 (注 1)	最大理論性能 (注 2)		導入 時期 (注 3)	利用 料金 (注 4)	利用 形態 (注 5)	成果公開の義務 (注 6)
	数値	単位				
		(選択式)	(選択式)	(選択式)	(選択式)	(選択式)
		(選択式)	(選択式)	(選択式)	(選択式)	(選択式)

注 1: (機種名)

- ・ 『スーパーコンピュータシステム』等のシステム名ではなく、計算機の機種名を記入してください。
- ・ 複数の計算機から構成される高速計算機については、主要部分の計算機の機種名を回答してください。

注 2: 「最大理論性能」について、数値欄に数値を入力し、単位を選択してください。

1 PFLOPS 2 TFLOPS

注 3: 「導入時期」について、運用を開始した年度を選択してください。

1 令和 2 年度以前 2 令和 3 年度 3 令和 4 年度 4 令和 5 年度 5 令和 6 年度以降

注4:「利用料金」を選択してください。

1 全て課金なし 2 条件付きで課金なし 3 課金あり

注5:「利用形態」を選択してください。

1 全国共同利用 2 学内共同利用 3 設置部局内・研究室内での利用 4 その他

注6:「成果公開の義務」について、学内の規定状況を選択してください。

1 規定なし 2 条件付きで義務なし 3 全て義務あり

3. 研究活動におけるクラウドサービスの契約状況（令和6年度実績）

(1) クラウドサービスで計算資源を調達しているか（単一選択）

- ◆ クラウドサービスでの計算資源の調達状況について選択してください。
- ◆ 本調査における「クラウドサービス」とは、IaaSとしての用途とし、Google Compute Engine や Amazon Elastic Compute Cloud (EC2)等のサービスを契約・調達しているかどうかを想定しています。

- ☐ 調達している
- ☐ 調達していない

<(1)で「調達している」を選択した場合>

(2) クラウドサービスの利用形態

- ◆ クラウドサービスの利用形態について、調達案件ごとに回答してください。

利用形態(注1)	対象研究分野(注2)	利用研究分野(注3)
(選択肢)	(選択肢)	(選択肢)
(選択肢)	(選択肢)	(選択肢)

注1:「利用形態」を選択してください。

1 学内共同利用 2 設置部局内・研究室内での利用 3 その他

注2:「対象研究分野」について、選択してください。

1 特定の研究分野において利用 2 不特定の研究分野において利用（汎用）

注3:「利用研究分野」を選択してください。

1 地球環境分野 2 防災、減災（地震、津波等）分野 3 エネルギー（太陽光変換技術、電池開発等）分野
4 創薬、ライフサイエンス分野 5 ナノ、材料分野 6 工業製品設計、産業応用分野 7 原子力、核融合分野
8 素粒子、原子核、宇宙分野 9 AI、データ科学分野 10 その他

4. 自由記述欄

- ◆ 「(F) 高速計算機」に関し、回答に対する補足説明等がございましたら、その内容を記入してください。

(G) 課題

- ◆ コンピュータ及びネットワークの管理・運用等において、解決すべき課題のうち、重要と考えているものを、以下の1～4 についてそれぞれ回答してください。
- ◆ 「1 組織・人員面」、「2 経費面」、「3 設備面」のそれぞれについて、コンピュータ及びネットワークの管理・運用等において解決すべき課題のうち、重要と考えているものを選択してください。(複数選択可)
- ◆ 1～3 以外に係る解決すべき課題がある場合は、「4 その他」において、具体的な内容を記入してください。

1. 組織・人員面（複数選択可）（令和7年5月1日現在）

- ☐ 情報関連組織の再編・統合
- ☐ 教員不足の解消
- ☐ 技術職員不足の解消
- ☐ 事務職員不足の解消
- ☐ 後継者の育成・確保
- ☐ 教職員のキャリア・パスの確保
- ☐ 研究データマネジメント人材の育成・確保
- ☐ その他（ ）
- ☐ 特になし

2. 経費面（複数選択可）（令和7年5月1日現在）

- ☐ 学内 LAN の管理・運用に係る経費の確保
- ☐ 学内 LAN の更新に係る経費の確保
- ☐ コンピュータの管理・運用に係る経費の確保
- ☐ コンピュータの更新に係る経費の確保
- ☐ ネットワークの接続（対外接続）に係る経費の確保
- ☐ セキュリティに係る経費の確保
- ☐ 遠隔教育設備に係る経費の確保
- ☐ その他（ ）
- ☐ 特になし

3. 施設・設備面（複数選択可）（令和7年5月1日現在）

- ☐ 学内 LAN の老朽化・陳腐化
- ☐ 学内 LAN におけるボトルネックの解消
- ☐ 全学的な無線 LAN の構築
- ☐ コンピュータの老朽化・陳腐化
- ☐ セキュリティ対策の充実
- ☐ 学内認証基盤の構築
- ☐ その他（ ）
- ☐ 特になし

4. その他

- ◆ 具体的に記入してください。

--

<自由記述欄>

- ◆ 回答についての補足説明や、本調査に対する意見等がございましたら、その内容を記入してください。

--